

況ですが、木材利用の拡大と森林資源の 格の低迷など、取り巻く環境は厳しい状 農家の皆さんと協議を重ねていきます。 の推進へ向けても、地元および関係受益 林業については、長期にわたる木材価

活かした町の役割についての検討を行っ ジョン」を策定し、大津町の地域特性を 引き続き、太陽光発電の普及、 たところであり、その検討結果を踏まえ、 町では、平成22年に「新エネルギービ

祉協議会や地域が連携し、自助、共助 公助の役割を認識し、お互いが支えあう 域福祉については、今後、校区を単位と る、 家族と共に暮らせる地域をつくりあげ した取り組みへの拡大を目指し、 また、現在、集落単位で進めている地 超高齢化社会が進むなかで、 を推進していきます。 在宅介護支援サービスの充実に努め

社会福

推進していきます。 「地域の絆」を大切にしたまちづくりを

どに取り組んでいきます。

織の活性化や地域防災リーダーの育成な

の意識を高めていくために、自主防災組

第二 「命を守る」について

の見直しや強化とともに、災害発生時の 検証を徹底的に行い、町の危機管理体制 雨災害」においては、今回の災害の事後 昨年7月に発生しました「九州北部豪

> さらには、地域で支え守りあう「共助」 行政による「公助」の機能強化はもちろ 供のシステムづくりに取り組みます。 んですが、自らの身は自らで守る「自助」、 のであると改めて認識したところです 合いと地域の絆が防災には欠かせないも するとともに、町民の皆さんへの情報提 かつ、迅速に把握するための体制を強化 今回の豪雨災害において、 また、大雨時の河川などの水位を的確、 地域の助け

↑子育て・健診センター

動できる人材を育成し、協働のまちづく や新エネルギーなどの政策に参画し、

活

安心して

り組んでいきます。

続き進め、

災害に強いまちづくりをめざ

まちおこし大学を活用し、地域の産業

一方、町内のすべての小中学校に防犯

ています。今後、新たな場所への防犯力 津駅南口のビジターセンターにも、防犯 カメラを設置し、防犯体制の強化に努め 育環境に取り組んでいます。 カメラを設置し、子どもたちの安全な教 メラの設置やJR肥後大津駅前への交番 JR肥後大

お互 を大切に上 いが支えあう したまちづく 地域の絆 りを

おける地元産材の利用促進に努めていき 有効活用を図るため、公共建築物などに

避難所の見直しを行っていきます。

などの河川の改修につきましても、 す。排水対策のために、上井手、下井手 特に近年、ゲリラ豪雨が多発していま 引き

目指し、パトロールセンターを拠点とし て、地域ボランティア、団体ボランティ の設置を警察に求めていきます。 引き続き、安心・安全なまちづくりを

と協働で犯罪防止に努めていきます。 アによる防犯パトロー ルの実施など町民

を行っています。 の早期完了に向けて、更なる事業の推進 現在、取り組んでおります「駅前楽善線」 きます。都市計画道路につきましても、 り、今後も引き続き取り組みを進めてい 交通ができるために、不可欠のものであ 道路の整備は、日常生活における安全な が、住民の皆さんにとって、身近な生活 また、生活環境基盤整備についてです

らせる魅力的で快適な生活環境づくりに 住民の皆さんが、安全に、安心して暮

「子育て 教育の推進」 E

年度から学校運営協議会(コミュニティ・

ル)を設置しました。学校と保護

また、護川小学校においては、平成25

者や地域の皆さんがともに知恵を出し合

一緒に協働しながら子どもたちの豊

努めていきます。

身につけ、よき社会の形成者として未来 叶える」教育実践のもと、「生きる力を に基づき、「夢を持ち、夢を育み、夢を を拓く子どもの育成」を目指した教育を 教育については、大津町教育基本構想

> る学校づくり」を進めてまいります。 かな成長を支えていく「地域とともにあ

一方、不登校やいじめ問題など、児童

た。地域に開かれた学校、 地域に愛され

さらに努めます。

老朽化している教育施設については、

できる「教育支援センター」の充実にも、 生徒や保護者、教職員などの悩みを相談

推進しています。 4月には、美咲野小学校が開校しまし

る学校を目指した取り組みを進めていき

活習慣病の予防などにより、 図っていきます。また、保健指導の拡充 ける育児相談や心理相談の体制の強化を に保健師を増員し、子育て支援事業にお づくりの拠点施設として位置づけ、さら て・健診センター」を子育て支援と健康 子育て、健康づくりについては「子育 スポーツとの連携を通じて、 医療費の抑 生

制を図っていきます。

の場、 公園」があります。世代を超えた交流が 子どもから高齢者まで自由に集える憩い 的に行っていきます。 な活動ができるように公園のPRを積極 でき、住民の皆さんがいきいきと健康的 「子育て・健診センター」の隣接地には、 健康づくりの場として「大津中央

子育てをしやすいまちづくりを推進して

協議会と連携した取り組みを進めていき を拠点にして、南杉水人権のまちづくり まちとなるよう、人権啓発福祉センター 互いが人権を尊重する心豊かな住みよい 人権尊重のまちづくりについては、

「子育て に子育て支援と健康づく 健診セ ン タ を拠点

り組んでいきます。 的保育事業(保育ママ)の拡充などに取 者などの保育ニーズに応えるため、家庭 家族の増加に伴う待機児童の解消と保護 大津町の人口の増加、特に子育て世代

る環境の整備を進めていきます。

びと個性豊かな教育を受けることができ 境の充実に努め、子どもたちが、のびの 行っていきます。今後も引き続き教育環 財政計画に基づき、年次計画で、改修を

の補助を拡大することを検討します。 すが、さらに、中学生までこども医療費 小学6年生まで実施をしてきたところで 者の皆さんの経済的負担の軽減のため、 こども医療費の補助については、保護 幼保小中の連携を図りながら引き続

き、子育ての不安や悩みの解消に向けて、

めの拠点づくりを推進していきます。 ンした「歴史文化伝承館」を活用し、 の歴史と文化を次世代に継承していくた また、法務局大津出張所跡地にオー 町

有していきます。 ぞれの地域と行政との情報の共有に努め 地区担当職員として配置しており、それ かりとらえ、町と地域の情報をお互い共 をさらに活用し、地域の要望、課題をしっ ています。今後も、引き続き、この制度 現在、各行政区において、役場職員を

政が主体性を持ち、連帯意識に支えられ かな地域社会を形成するため、 た、「恊働のまちづくり」を推進して 町民と行政がそれぞれの役割を認識 自主性・自立性を高めながら個性豊 町民と行



子どもから高齢者まで自由に 集える憩 の場、

大津中央公園